

要望活動

基地対策特別委員会

瑞穂町と瑞穂町議会 合同による要望活動

7月31日、議会は町と共に防衛省・外務省・総務省へ要望活動を行いました。
主な内容は、

- CV-22オスプレイや常駐機C-130の市街地上空における低空・旋回飛行、夜間および早朝の飛行訓練の中止
- CV-22オスプレイについて、今後の配備計画の情報提供や低周波音の調査の実施
- 住宅防音区域の拡充、区域指定告示後の建築家屋すべての工事の対象化
- 泡消火剤漏出について、詳細で迅速な情報提供と地下水への影響に関し、調査・分析・評価を行い公表すること



左から 小川委員長、山崎議長、二又北関東防衛局長、杉浦町長

など、全12項目にわたって、住民の生命・環境の安全確保や迅速かつ正確な情報提供を強く要望しました。

～議員と話そう～

「みずほ まちなか会議」開催に向けて

厚生文教分野

日にち：1月20日(土)
会場：長岡コミュニティセンター

テーマ 多世代間交流について

総務産業建設分野

日にち：1月20日(土)
会場：長岡コミュニティセンター

テーマ 地域コミュニティを
考える
～災害時など、
求められるその役割は～



詳細は後日ホームページなどで公表します。
ご参加を心よりお待ちしております。

すべての子どもたちに 学びの場の提供を

教育長 7月に研修会を実施した

質問 一般的に14%、専任相談員を派遣し、クラスに約5人の児童・生徒が境界知能の可能性があるが、ギフテッドの児童・生徒は約2%で、町の場合、学年に2人程度はいることになる。いずれも通常の授業では本人が満足できる学びの提供が困難であり、問題行動に発展するケースもあるため、個々の状況や背景に合わせたアプローチが必要とされている。そこで、境界知能、ギフテッドの児童・生徒の実態把握や現状と課題、学びの場の提供について教育長に伺う。

教育長 いずれも明確な診断基準がないため、実際の割合は把握できない。教育委員会では、専任相談員を派遣し、就学前の子どもたちの状況を把握している。それを基に、個別指導計画や支援内容などについて学校をサポートしている。境界域の児童・生徒の理解促進に向けて7月に研修会を実施した。質問 教育委員会だけで完結できるのか。教育長 境界知能、ギフテッドも公教育の中では難しいと研修を受けて感じた。まだ答えは見つからない状況だが意識していく。

子どもたちによる花植え作業

境界知能…知能指数が平均範囲と知的障がいの境界に位置すること。ギフテッド…平均よりも著しく高い知的能力などを持っている人。



子どもたちによる花植え作業

境界知能…知能指数が平均範囲と知的障がいの境界に位置すること。ギフテッド…平均よりも著しく高い知的能力などを持っている人。



川島 靖弘 議員(立憲民主党)

中学校英語スピーキングテストについて

教育長 必要な取り組みと考える



質問 令和5年度都立高校の入学試験において、中学校英語スピーキングテスト(E-SAT)の結果が合否判定の一部として取り扱われるようになった。また、5年度中には中学3年生だけでなく、



立川市に新たに設置された体験型英語学習施設

1年生と2年生にも英語スピーキングテストが実施される予定となっている。瑞穂町教育委員会として、これらの英語スピーキングテストをどのように評価されているかを伺う。

教育長 町では、第2次瑞穂町教育基本計画において、英語力を身に付け、積極的にコミュニケーションを図ることを目標としている。これからは「聞く・読む・書く」に加え「話す」技能についても適正に評価することが必要である。したがって、都立高校の入学試験における英語スピーキングテストの結果利用、並びに中学校1・2年生での実施は、必要な取り組みであると考えている。

こんな質問もありました
発達障がい児のサポート体制について
町長 私は、障がいのある子どもに対する支援の拡充を、この任期中の目標の一つに位置付けている。これからも発達障がいを含め、障がい児支援の拡充に努めていく。